

ヴァイサラSurface Patrol ディスプレイ付き舗装温度センサ DSP100



利 点

- モバイルセンサが全行程で舗装データを提供
- 舗装温度、大気温度をリアルタイムで読み取り
- 他の舗装モニタリング方法よりも低価格

機 能

- 大気温度、舗装温度の両方を測定
- 読み取りやすいダッシュボードマウントのデジタル・ディスプレイ
- 特許取得の円錐形設計でセンサレンズを保護
- 独立した大気温度センサで精度が向上
- 取り付けは素早く簡単
- ユニットは現場で校正可能。メーカーへの返送は不要
- スプレッダーや距離測定機など、他の車両機器と統合
- オプションのRS-232出力で、他の用途向けコンピュータやアナログ出力と接続

ヴァイサラSurface Patrolディスプレイ付き舗装温度センサDSP100シリーズは、舗装道路で起こりうる凍結温度の検出に使用する可動式温度センサです。DSP100は舗装温度の測定に非接触赤外線センサを採用しており、大気温度も測定します。使いやすいDSP100は、運輸交通関連の官公庁といった大きな組織から、数台のトラックを配車される小規模の事業所まで、幅広くご利用いただけます。

DSP100は車両の外部に取り付けます。路面温度を連続モニタリングし、路面の

状態を瞬時に評価します。DSP100は大気温度センサと配線が独立しているため、直射日光を避けて設置し、正確な読み取りを行うことが可能です。DSP100から検索されたデータは正確かつリアルタイムですので、信頼性の高い舗装道路の情報収集が可能となります。

DSP100は現場で校正が可能ですので、常に最も精度の高い読み取りが可能です。さらに、円錐形の舗装プローブが、正確な読み取りを妨げる恐れのある水しぶきや冬の天候からセンサを保護します。

技術情報

一般仕様

精度	0°C(+32°F)において±0.28°C(±0.5°F)
衝撃	50Gs
震動	いかなる軸でも10Gs
入力電圧	12または24VDC
現場校正	0°C(+32°F)において 調整可能 ±17.5°C(±5.0°F)
光学部分	高精度水晶(ゲルマニウムレンズ)
大気温度計ケーブル長	5.5m(18フィート)標準
使用温度範囲	-40°C~+71.1°C (-40°F~+160°F)
デュアルデジタルメーター	高輝度赤色LED、 大気温度、舗装温度の両方を表示
高周波耐久性	移動無線に起因する 外部周波数の影響への耐久性
デジタル出力*	RS-232; ASCII出力
アナログ出力*	4~20mA; 1~5V
CE準拠	2004/104/EC指令に準記

*オプション

DSP100シリーズ

製品

DSP110
DSP111
DSP112
DSP113
DSP114

用途

- 冬季の保全業務(除雪車、監視車)
- AVL(車両位置追跡システム)ネットワークの拡大



VAISALA

www.vaisala.co.jp

詳細は以下よりお問い合わせください。
weathersales.japan@vaisala.com

Ref. B210979JA-A ©Vaisala 2016

本カタログに掲載される情報は、ヴァイサラと協力会社の著作権法、各種条約及びその他の法律で保護されています。私的使用その他法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用(複製、送信、頒布、保管等を含む)をすることは、事前に当社の文書による許諾がないかぎり、禁止します。仕様は予告なく変更されることがあります。本カタログは英文カタログの翻訳版です。翻訳言語に不明瞭な記述が発生する場合は、原文である英文カタログの内容が優先されます。

CE